

大腸ESD(内視鏡の粘膜下層剥離術)を受ける方へ

患者氏名 _____ 様

| 外来 | | 入院日(/ /) | ESD当日(/ /) | ESD後1日目(/ /) | ESD後2日目(/ /) | ESD後3日目(/ /) | ESD後4日目(/ /) | ESD後5日目(/ /) | ESD後6日目(/ /) ~退院日 |
|---|---|---|---|---|--|---|----------------|---|------------------------|
| <p>病状説明:大腸に大型の腫瘍があり、内視鏡による切除術にて診断的治療が可能と考えられ、静脈麻酔下で腫瘍を摘出します。 推定入院期間は約1週間です。</p> | | <p>退院基準: 外来通院可能な食事になり、入浴など通常の生活を送ることができる</p> | | | | | | | |
| 検査・治療・処置 | <ul style="list-style-type: none"> ●胸・腹部レントゲン、心電図 ●血液検査 | <ul style="list-style-type: none"> ●入院時に検温にうかがいます ●場合により大腸の内視鏡検査を行います | <ul style="list-style-type: none"> ●昼 右手から点滴を行います ●尿の管を入れさせて頂きます ●歩いてまたは車椅子(ストレッチャー)にて検査室までご案内させていただきます ●内視鏡にて処置着に着替えて頂きます ●心電図モニターをつけます ●処置後ストレッチャーにて病室に戻ります | <ul style="list-style-type: none"> ●朝6時~7時頃 採血に伺います ●尿の管を抜きます ●排便があれば、便の状態を観察して下さい ●心電図モニターを外します | | | | | |
| 薬剤 | <ul style="list-style-type: none"> ●休薬していただくお薬の説明をします() | <ul style="list-style-type: none"> ●現在服薬中のお薬がありましたらお知らせ下さい ●持参薬は医師の指示のある内服のみ服薬して下さい ●休薬していただくお薬の説明をさせていただきます ●大腸の内視鏡検査がある場合は、腸管洗浄液を服用します(別紙にて説明) ●寝る前に下剤を服用します  | <ul style="list-style-type: none"> ●朝6時頃から腸管洗浄液を服用していただきます、排便状況を看護師が確認します ●朝の内服は、医師の指示があれば朝6時に服用して下さい ●点滴があります ●痛みがある時は痛み止めを使用します ●熱がある時は解熱剤を使用することがあります ●嘔気・嘔吐がみられる時は吐き気止めを使用します | <ul style="list-style-type: none"> ●点滴があります ●持参されたお薬は、医師の指示があれば内服していただきます  | ●点滴があります | ●点滴はありません | | | |
| 生活動作リハビリ | | ●制限はありません | <ul style="list-style-type: none"> ●病室後より翌朝までベッド上端坐位までの安静となります。 ●本日は入浴出来ません | <ul style="list-style-type: none"> ●主治医診察後よりトイレ歩行の許可が出来ます ●看護師が体を拭かせていただきます | ●病院内歩行ができます | ●シャワー浴をしていただけます | | | |
| 全身管理 | | ●前日の下剤服用後から排便があったかどうか確認します | <ul style="list-style-type: none"> ●病室時・1時間後・3時間後・6時間後・9時間後に検温に伺います ●腹痛・嘔気・嘔吐など不快な症状があればお知らせください | <ul style="list-style-type: none"> ●朝6時・10時頃検温に伺います  | |  | | ●検温に伺います(10時頃) | |
| 食事・栄養管理 | | <ul style="list-style-type: none"> ●入院後はインテスクリア食となります ●夜9時以降はお食事をとらないで下さい ●夜12時以降は水分をとらないで下さい | <ul style="list-style-type: none"> ●終日絶食です ●麻酔が覚めれば、少量の水分なら飲んでいただいても構いません | <ul style="list-style-type: none"> ●診察・採血の結果で水分(水・お茶)、昼より食事(重湯・流動食)が開始となります | <ul style="list-style-type: none"> ●朝より3分粥・3分菜 ●夕より5分粥・5分菜 | ●昼より全粥・軟菜 | ●朝より米飯 |  | |
| 説明・指導教育 | | <ul style="list-style-type: none"> ●病棟内の案内があります ●薬剤師が薬の説明を行います | <ul style="list-style-type: none"> ●時計・眼鏡・義歯・ネイル・マニキュア・化粧品・指輪・ヘアピン・コンタクトレンズ・ネックレス・ピアスなどはお取り下さい  | | | | | ●栄養士の説明があります | ●退院後の指導があります |

退院後の生活について

過労や精神的な緊張は潰瘍の治りを遅らせることがあります。十分な睡眠をとり、規則正しい生活を送みましょう。

退院後、2週間は以下のことに注意して下さい。

食事・飲み物

- ・主食・主菜・副菜のそろったバランスのよい食事にしましょう。
- ・食べ過ぎないように腹八分目にしましょう。
- ・ゆっくりよく噛んで食べましょう。
- ・煮る・蒸す・茹でる調理を中心とし、揚げる・焼く調理は避けましょう。
- ・野菜などは生で食べるより火を通した方が消化がよくなります。
- ・繊維の多い物・油の多いものは消化に時間がかかります。
- ・食後はゆっくり休みましょう。

お酒

- ・アルコールはキズの治りを遅らせますのでひかえましょう。

たばこ

- ・たばこはキズの治りを遅らせますのでひかえましょう。

仕事

- ・デスクワークは可能ですが、力仕事は避けて下さい。
 - おなかに強い力がかかると、出血する危険性があります。
 - ・出張は避けてください。
 - 万が一の出血などの可能性も考え、避けましょう。
- 出血(便に血がまじる)がみられた時は、当院に受診しましょう。

活動

- ・散歩など適度な運動は可能です。
- ・血圧があがるような激しい運動はやめましょう。
- ・重労働・重い荷物を持つなども禁止です。
- おなかに強い力をかけると偶発症状(熱や腹痛など)が出現する可能性があります。
- ・トイレの際は、あまりいきまないようにして下さい。

入浴

- ・入浴は退院日はシャワー浴のみ可能です。
- ・入浴は退院翌日から可能です。
- ・長湯やサウナは避けてください。
- 血流が亢進し、出血するリスクがあります。

☆高熱や腹痛・出血するようなことがあれば、病院に連絡をお願いします。

075-391-5811(代表)

京都桂病院

